

平成 20 年 10 月 吉日

特別医療法人平野同仁会 津山第一病院
理事長 矢田義比古先生 御侍史

テルモ株式会社
取締役常務執行役員
ホスピタルカンパニー統轄

三村孝仁

謹啓

秋冷の候、矢田先生におかれましては益々御清祥のことと御慶び申し上げます。
日頃は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこのたびは、弊社製品に対しまして、医療安全の観点から大変貴重なご示唆を頂戴致し、
誠にありがとうございました。

ご示唆の内容は、患者様の安全を更に推進する為、「サフィード胃管カテーテルX線不透過」
について「経管栄養に使用の際はX線撮影で先端位置を確認すること」との注意書きを個包装
に明記すべきとの内容でございました。

弊社と致しましては、この際、当該製品の安全使用のあり方について改めて国内外の文献を
調査すると共に、海外を含めた諸先生方のご意見をお伺い致しました。

結果、現時点では、経管栄養を行う際にX線撮影で先端位置を確認することについて、実施
に困難を伴う事例もあるのではないかとのご意見を少なからず頂戴致しました。

しかしながら、熟慮の結果、現段階では矢田先生ご指摘の通り、X線撮影以外の方法で
医療事故のリスクを確実に削減できるものは見当たらず、また近い将来、X線撮影を必須と
すべき方向にあるとも判断致し、医療事故削減の観点からは喫緊の課題として取り上げるべき
という結論に至った次第です。

「サフィード胃管カテーテルX線不透過」につきましては、当該製品の個包装に「経管栄養
に使用の際はX線撮影で先端位置を確認すること」との表記をさせて頂く運びとなりました
こと、ご報告申し上げますと共に、矢田先生のご慧眼に改めて敬意を表するものでございます。

弊社と致しましては、今後とも先生方のご指導を仰ぎながら更に安全で使いやすい医療機器
の開発と共に、製品の安全情報のご提供に努力を致す所存でございます。

今後とも引き続き御指導御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、矢田先生の益々のご健康とご活躍を心より祈念申し上げます。